

文教厚生委員会会議録

平成26年6月25日（水）

午後2時15分 開会

○竹内功治委員長

ただいまより、文教厚生委員会を開会いたします。

協議題1「閉会中の調査事項について」を議題とします。

先日の委員会で、閉会中の調査テーマを『「健幸」のまちづくり～生活習慣病対策について』に決定しました。本日は、半田市の現状について勉強をしたいと思います。ではよろしくお願ひいたします。

○笠井福祉部長

それでは本日は今年からスタートしております「第2次健康はんだ21計画」について保健センターから説明をさせていただきますのでよろしくお願ひいたします。

【保健センター主査：資料に沿ってパワーポイントを利用して説明】

○竹内功治委員長

ありがとうございました。

今の説明をお聞きしまして、何か皆さまから質問がありましたらお願ひします。

○笠井福祉部長

ありがとうございました。今「健康はんだ21計画」の概要について、掻い摘んでご説明させていただきました。特に強調したい点がございませう。まず半田市の特徴ということで先ほど2025年問題の話をしてしまいましたが、実は半田市の場合、人口の推移をみますと2025年問題は深刻になります、その次の山、いわゆる我々では多分おそらく2050年問題。これをどうやって対処するのかということが一番大きな課題となっております。2025年問題に関しては国でも例えば介護予防であるとか社会保障費の削減ということもありまして地域包括ケアシステムの推進ということでいろんな施策が今うたれてはいますが、2050年問題に関しましては、特段国のほうも2025年問題に対応できれば2050年も対応できるだろうと団塊ジュニアにも対応できるであろうという発想で事業が組まれてはいますが、半田市の場合はそれでは間に合いません。私どもが2050年問題に対応するのは一番何がいいかということとちょうどそういう該当される現在40歳から45歳の方。ちょうど壮年期に入られた方です。先ほどの資料を見ていただいてもちょうど病気になりやすい、これから病気にかかる年齢です。そういう方に対して生活習慣病予防が一番重要であろうと。それが高齢になってからの介護予防につながる。医療費の削減あるいは介護保険料の削減につながるだろうと思っております。そういった観点で私どもとしては特に生活習慣病予防についてはこれからかなり力を入れてやっていきたいという思いがありますので今回のご説明の中でもそういったことをご説明させていただいたつもりであります。今回の閉会中の調査テーマも「健康づくり」ということでもありますので私どもとしてはその辺も含めてご議論いただければと思っておりますのでよろしくお願ひいたします。

○竹内功治委員長

ありがとうございました。それでは何か質問等ありましたら良い機会ですのでよろしくお願ひいたします。

○山本半治委員

今、よくわかりました。それで先ほど言ったメタボが多いということで、半田市独自では具体的にどんな対策をしていますか。

○保健センター主査

まずは受診率をもう少し上げないとというのはあります。以前、未受診の方が「私は健康だから受けない」と言われていたので、まずは受診率の底上げをしたいというのがあります。それから受診結果からメタボに該当しなかった方、要は腹囲が基準になりますので腹囲は引っ掛からないんだけど血液データがメタボの基準にかかる方は先ほどお見せしたグラフのメタボの予備群もしくは該当者には入らないのですが、数値が悪い方については通知をしてご案内を出しております。「メタボ該当者です」と言われるといけないなと思いますが、ただ数値の横に「※（こめじるし）」がついているだけだと気が付かないということもありますので、やはり「病気の予備群ですよ」という形でご案内をだして早く治療なり生活習慣の改善に進んでいただくということで、メタボとは別にまた数値につきまして該当者にはご案内をしています。

○竹内功治委員長

他に何かありますか。

○山本博信委員

高血圧の症状がある人は、病気との因果関係はあるんでしょうか。

○保健センター主査

そうですね。高血圧というのは一番血管を傷つける病気のひとつです。先ほどの説明資料に出ています病気でいきますと血管は全身のいたるところにあるんですが、大きな血管が傷んだ場合は、心臓の血管、脳血管と。ここにある腎不全というのは細かい血管ですね。腎臓は細かい血管を張り巡らせていますので、毎日負担がかかりますと腎臓の機能が途絶えます。そして一旦壊れてしまうと戻らない。例えば肝臓は他に一部があれば再生していく部分がありますが、腎臓は一度痛めてしまうともう治っていかない。悪くなる一方になってしまう。なので高血圧というのはいろんな病気を引っ張ってくる要因になる病気なので最初に気を付けておきたい。

○山本博信委員

その対策はどのような対策ですか。

○保健センター主査

まず一番は食生活。塩分、ご存じと思いますが減塩というのが一つあります。あと少し肥満を伴っている方は、それなりに体が大きいので余計いろんなところに血液を張り巡らせなくてはいけないので心臓の負担もあります。やはり負担を減らすためには、体重を是正していただくということが重要です。まずは大体その2点から始めます。ですので体重のコントロールのためには食事と運動というところになります。あとはある程度高い方は薬でとりあえず安全圏内までもって行って生活改善をしつつ、さらに大きな病気を引っ張らないようにということで管理が必要です。

○山内悟委員

医療費ですが、先ほど腎不全と高血圧を例にして、受診率が高いけど安い。受診率が低いけど高い。僕が目したの一番上のがんですが、受診率が低いけど高い。つまり今回は生活習慣病ですが。それにも増してがんは、受診率は低いし医療費も高いし、決定的だ

なあと半田市の特徴を見ていましたが、非常に今日の講義は説得力があって、この7人くらの受講者ではもったいないと思ったので、これはもっといろんなところにこれを活用したほうがいいのかなと思いました。生活習慣病と同時にがんの数値は非常に半田市で一番高く、しかも受診率は低い。というところは大きな欠陥かなと思いました。ひとつ反省です。

○保健センター主査

がん治療は年々、高度医療になっていますのでますますそういう意味では単価が高くなっています。

○山内悟委員

多分医療技術がどんどん進んで、医療費が上がってきていると思うんですね。ということもあるんですね。

○竹内功治委員長

他に何かご質問はありますか。

○保科保健センター主幹

国民健康保険の特定健診の方のメタボの割合が県下で一位ということで、国保の担当の方でも私たちがいろいろデータをやりくりして一緒に取り組もうとやっています。半田市の特徴としましては、60歳以上の方の健診の受診率が高い状況で、その中でも特徴を見ると医者にかかって薬を飲んでいるメタボの方が多く、薬を飲むことで重症となる予防にはなりますがメタボの割合は多いままということですが、市民の方には腹囲を抑えていただく取り組みや食事と運動ですが、最初そう聞くと少し取っつきにくいところはあるのですができるところから始める。食事も普段より何かを具体的に、無理なく減らせるように特定保健指導等に国保のほうも力を入れてやっております。保健センターにも栄養士がおりますので市民の方でそういう相談も個別にさせていただいております。先ほど山内議員からも説得力があったとお褒めをいただいたのですが、今日はここにお見えになる議員の方にこのように知っていただき市民の方に声をかけていただいて、私たちも支援をさせていただけることができましたら個別でも無理なく対応させていただきたいと思います。また市民の方に議員さんから広めていただきたいと思いますのでよろしくお願いします。

○竹内功治委員長

何か他にご質問はありますか。

【「なし」と呼ぶ者あり】

○竹内功治委員長

保健センターの皆さまありがとうございました。

それでは、協議題1を終了いたします。しばらく休憩いたします。

(当局側退席)

午後3時25分 休憩
午後3時33分 再開

○竹内功治委員長

委員会を再開します。

次に協議題2「その他」を議題とします。まず市内視察について協議させていただきたいと思います。市内視察の日程については、先日メールで7月29日(火)に実施すること

を連絡しています。暑い時期とは思いますがよろしくお願ひいたします。視察先についてですが、現段階で決まっていることですが、まず午前中に「旧中埜家住宅の改修工事」を見学しまして、その後に「フレンド乙川」、「亀崎総合福祉センター」、「かめとも」という施設で「K00（クー）亀崎思いやり応援隊」というボランティア団体のお話しをお伺する予定でございます。ただまだスケジュール的には余裕がありますので委員の皆さまで他にご希望の視察先がありましたらぜひご意見をお伺ひしたいと思います。しばらく休憩いたします。

午後 3 時 3 5 分 休 憩

午後 3 時 4 1 分 再 開

○竹内功治委員長

委員会を再開します。市内視察については7月29日（火）に実施することとし、視察先は「旧中埜家住宅」「フレンド乙川」「亀崎総合福祉センター」「かめとも」で「K00（クー）」ということで決定させていただきますが、他に視察の希望がございましたらご連絡いただきますようよろしくお願ひします。なお、行程につきましては正・副委員長と当局で調整のうえ決定したいと思いますのでご一任いただけますでしょうか。

【「異議なし」との声あり】

○竹内功治委員長

ありがとうございます。では決まり次第ご連絡いたします。

次に、平成26年度事業評価について議題とします。当文教厚生委員会においても事業評価の実施にあたり、分科会を設置し進めてまいりたいと思ひますがよろしいでしょうか。

【「異議なし」との声あり】

○竹内功治委員長

ありがとうございます。本日お手元に事業評価の資料として平成26年度（平成25年度実施事業分）事務事業評価対象事業、文教厚生委員会所管の一覧表とあわせて、24年度と25年度に当文教厚生委員会で実施しました事業評価結果を配布しております。ここで皆さまにご意見をお伺ひしたいと思います。この一覧表の項目のみで事務事業評価の事業選定をするかどうかご意見をお伺ひします。しばらく休憩いたします。

午後 3 時 4 3 分 休 憩

午後 4 時 9 分 再 開

○竹内功治委員長

委員会を再開します。それでは事務事業評価の事業選定につきましては、7月2日（水）午後5時までに事務局まで3事業程度選んでいただき提出してください。その後、事業選定の分科会につきましては、7月8日（火）全員協議会後もしくは7月16日（水）9時30分からは行いますのでよろしくお願ひいたします。

それでは他に何かありましたらお願ひします。

【「なし」と呼ぶ者あり】

○竹内功治委員長

よろしいでしょうか。それでは、ないようですので本日の委員会はこれにて閉会いたします。

午後 4 時 1 1 分 閉 会